

## 小児科学

### 【原著論文】

- 1) Kano K, Arisaka O: Efficacy and safety of tolterodine in children bladder-type enuresis. *J New Rem Clin* 57(11): 1906-1907, 2008.
- 2) Shinjyo T, Kurosawa H, Miyagi J, Ohama K, Masuda M, Matsui H, Inaba T, Furukawa Y, and Takasu N: Oncogenic ras regulates survivin expression via mitogen-activated protein kinase and phosphatidylinositol-3 kinase in mouse interleukin-3 dependent hematopoietic Baf-3 cells. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 216: 25-34, 2008.
- 3) Yabe M, Sako M, Yabe H, Osugi Y, Kurosawa H, Nara T, Tokuyama M, Adachi S, Kobayashi C, Yanagimachi M, Ohtsuka Y, Nakazawa Y, Ogawa C, Atsushi M, Kojima S and Nakahata T for a Japanese Childhood MDS Study Group: A conditioning regimen of busulfan, fludarabine, and melphalan for allogeneic stem cell transplantation in children with juvenile myelomonocytic leukemia. *Pediatric Transplantation* 12: 862-867, 2008.
- 4) Yoshihara S, Yoshida T, Kurosaka F, Arisaka O, Furusho K: Survey of childhood asthma and use of inhaled therapy in the home in Japan using the Internet. *Pediatric International* 50(4): 495-499, 2008.
- 5) Hirota T, Harada M, Sakashita M, Doi S, Miyatake A, Fujita K, Enomoto T, Ebisawa M, Yoshihara S, Noguchi E, Saito H, Nakamura Y, Tamari M: Genetic polymorphism regulating ORM1-like 3 (*Saccharomyces cerevisiae*) expression is associated with childhood atopic asthma in a Japanese population. *J Allergy Clin Immunol* 121(3): 769-770, 2008.
- 6) Takahashi Y, Coppola D, Matsushita N, Cualing H D, Sun M, Sato Y, Liang C, Jung J U, Cheng J Q, Mul J J, Pledger W J, Wang H G: Bif-1 interacts with Beclin 1 through UVRAG and regulates autophagy and tumorigenesis. *Nat. Cell Biol.* 9(10): 1142-1151, 2007.
- 7) Imataka G, Ogino M, Nakagawa E, Yamanouchi H, Arisaka O: Electroencephalography-guided resection of dysembryoplastic neuroepithelial tumor. *Neuro Med Chir (Tokyo)* 48: 317-320, 2008.
- 8) 平間記子, 服部良之, 鈴木國弘, 城島輝雄, 岩田千種, 服部幸子, 有阪治, 笠井貴久男: ピオグリタゾンが奏効したインスリン受容体異常症姉妹例 血中アディポネクチンの検討. *糖尿病と代謝* 36: 56-59, 2008.
- 9) 加納健一, 福田哲夫, 安藤保, 山崎トヨ, 上山泰淳, 金井孝裕, 加藤一昭, 関守康, 佐々木定雄, 嶋博: 宇都宮市学校腎臓検診について (平成19年度). *栃木県医学会会誌* 38: 99-101, 2008.
- 10) 加納健一, 村山直樹, 武田茂幸, 上山泰淳, 安藤康宏, 岡田和久, 栃木典子, 手塚桂子: 栃木県立学校における学校腎臓検診について (平成19年度). *栃木県医学会会誌* 38: 102-104, 2008.
- 11) 加納健一, 上山泰淳, 小林靖明, 加藤一昭, 栃木典子, 手塚桂子: 平成19年度の保健衛生事業団が関与した小中学校と私立学校の腎臓検診について. *栃木県医学会会誌* 38: 105-107, 2008.
- 12) 富澤大輔, 木下明俊, 田渕健, 井田孔明, 太田節雄, 清田知賀子, 小池和俊, 高橋浩之, 黒澤秀光, 気賀沢寿人, 別所文雄, 月本一郎, 花田良二, 土田昌弘. : 乳児期発症の急性骨髄性白血病の治療検討—東京小児がん研究グループ(TCCSG)13次および14次研究より. *日本小児血液学会雑誌* 22: 14-20, 2008.
- 13) 吉原重美, 市橋光, 桃井真里子, 江口光興, 井原正博, 菅野訓子, 平尾準一, 有阪治: 栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査～2002年と2006年の比較～. *日本小児アレルギー学会誌* 22(5): 795-802, 2008.

- 14) 吉原重美, 有阪治: ツロブテロール貼付薬 (ホクナリン®テープ) の重症小児気管支喘息における吸入ステロイド薬への追加効果. *Prog Med* 28(3): 809-812, 2008.
- 15) 福田啓伸, 鈴木宏, 宮本健志, 栗林良多, 山崎弦, 渡部功之, 新田晃久, 有阪治: 新生児聴覚スクリーニングにおける要精査例に関する検討. *Dokkyo J Med Sci* 35(1): 19-25, 2008.
- 16) 渡部功之, 山崎弦, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: 新生児に対する経鼻式持続陽圧呼吸法の効果と問題点. *Dokkyo J Med Sci* 35(3): 169-173, 2008.
- 17) 渡部功之, 山内秀雄, 有阪治: 新生児デジタルビデオ脳波の有用性. *小児科* 49(10): 1383-1389, 2008.
- 18) 菅野訓子, 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 阿部利夫, 有阪治: 小児気管支喘息患児を対象としたプロカテロール吸入液ユニットの使用感および利便性に関するアンケート調査. *呼吸* 27(10): 999-1004, 2008.

## 【症例報告】

- 1) Kano K, Nishukura K, Yamada Y, Arisaka O: No effect of alendronate on bone mineral density and vertebral fracture in a nephrotic boy treated with high-dose prednisone. *J New Rem Clin* 57(1): 99-101.
- 2) Kuwashima S, Kitajima K, Kaji Y, Watanabe H, Watabe Y, Suzumura H: MR imaging appearance of laryngeal atresia (congenital high airway obstruction syndrome): unique course in a fetus. *Pediate Radiol* 38: 344-347, 2008.
- 3) Matsunaga T, Kurosawa H, Okuya M, Nakajima D, Hagsiawa S, Sato Y, Fukushima K, Sugita K, Arisaka O: Chronic active Epstein Barr virus infection with mosquito allergy successfully treated with reduced intensity unrelated allogeneic bone marrow transplantation in a boy. *Pediatr Transplantation* , 2008.
- 4) Nitta A, Nishikura K, Fukuda H, Yoshihara S, Hirao J, Arisaka O, Matsuda H: Congenital left brachiocephalic vein and superior vena cava aneurysms in an infant: final update with autopsy findings. *J Pediatr* 152(3): 445-446, 2008.
- 5) Nitta A, Suzumura H, Kano K, Arisaka O: Congenital cystic periventricular leukomalacia in a small-for-gestational age full-term infant. *Pediatr Int* 50(5): 696-697, 2008.
- 6) 多賀崇, 伊藤剛, 浅見恵子, 井上雅美, 吉益哲, 菊池陽, 杉田憲一, 鈴木信弘, 真部淳, 岩崎史記, 小坂嘉之, 右田昌宏, 小原明: Congenital dyserythropoietic anemia の全国調査. *日小血会誌* 22:223-238, 2008. *日小血会誌* 22: 223-238, 2008.
- 7) 志村直人, 市川剛, 小嶋恵美, 山崎弦, 有阪治: 高度な代謝異常を合併し, 治療に難渋した2型糖尿病の女子例. *The Lipids* 19: 203-207, 2008.
- 8) 西田光宏, 萩沢進, 平尾準一, 杉田憲一, 有阪治: 労作性熱中症に伴って肝障害を認めた3例. *小児科臨床* 61: 1159-1161, 2008.
- 9) 新田晃久, 山崎弦, 渡部功之, 鈴木宏, 有阪治: 修正42週および45週に肥厚性幽門狭窄症を発症した早産児二卵性双胎の双方発症例. *日本周産期新生児医学会誌* 44(4): 1233-1235, 2008.

## 【総説等】

- 1) 有阪治, 相川薫: 最近の国民栄養調査からみる小児の食生活と小児科医の対応. *小児内科* 71: 905-912, 2008.
- 2) 有阪治, 市川剛: デスマプレシンの点鼻について, 風邪で鼻汁が多い場合, アレルギー性鼻炎の時の投与方法はどうすればよいですか. *小児内科* 40: 329-330, 2008.

- 3) 有阪治, 市川剛, 栗林良多: 小児の多尿一尿崩症について一. 小児科 49: 1905-1917, 2008.
- 4) 有阪治: 小児疾患診療のための病態生理第4版 尿崩症. 小児内科 40: 690-695, 2008.
- 5) 有阪治: 子どものための食育最新知識・肥満. 小児内科 40: 1489-1494, 2008.
- 6) 有阪治: 小児内分泌疾患の診断の手引き—いかに治療するか尿崩症. 小児内科 40: 1755-1761, 2008.
- 7) 緒方勤, 堀川玲子, 長谷川奉延, 位田忍, 向井徳男, 安達昌功, 有阪治, 藤枝憲二: 性分化異常症の管理に関する合意見解. 日本小児科学会雑誌 112: 565-578, 2008.
- 8) 有阪治: 食育の観点から考える生活習慣病. 栃木県小児科医会会報誌 14: 2-3, 2008.
- 9) 有阪治: 小児のメタボリックシンドローム. Keep Rest-Current Topic for Pediatrician (14): 1-3, 2008.
- 10) 杉田憲一: 熱中症. 健康教室 59: 11-11, 2008.
- 11) 吉原重美: 小児気管支喘息. 呼吸器疾患診療マニュアル. 日本医師会雑誌 (特別号) 137(2): 214-217, 2008.
- 12) 吉原重美: 小児気管支喘息の薬物による Early intervention. 日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会誌 6(1): 205-208, 2008.
- 13) 吉原重美: 乳幼児喘息のより良いコントロール. 日本医事新報 4404: 89, 2008.
- 14) 吉原重美: 気管支喘息. 小児疾患診療のための病態生理. 小児内科 (増刊号) 第4版 40: 1374-1381, 2008.
- 15) 吉原重美: 小児喘息から成人喘息への移行について. 呼吸と循環 56(1): 919-924, 2008.
- 16) 吉原重美: 難治化の防止に向けて1)小児喘息. アレルギーの臨床 27(10月): 943-950, 2008.
- 17) 吉原重美: 小児気管支喘息の気道炎症の評価-喀痰検査-. 喘息 21(1): 4-8, 2008.
- 18) 吉原重美: One airway, one diseaseと神経原性炎症. アレルギーと神経ペプチド 4: 11, 2008.
- 19) 吉原重美: ニューロステロイドの気道神経原性炎症抑制効果と細胞内シグナル伝達機構. アレルギーと神経ペプチド 4: 25-29, 2008.
- 20) 吉原重美: 「小児のアレルギーマーチについて教えてください. また以前と比べてどのような変化がありますか?」. Q&Aでわかるアレルギー疾患 4(6): 592-594, 2008.
- 21) 吉原重美, 福田啓伸: 小児のアナフィラキシー疾患におけるエピペン®の必要性. Pediatric Allergy for Clinicians 4(2): 16-19, 2008.
- 22) 山田裕美, 吉原重美: RSウイルス感染と喘息の発症. アレルギーの臨床 28(3月): 22-27, 2008.
- 23) 菅野訓子, 吉原重美: 専門病院における教育のノウハウ. Pediatric Allergy for clinicians 4(1): 16-17, 2008.
- 24) 志村直人: ヒトヘルペスウイルス-6による抗利尿ホルモン異常分泌症候群. 小児内科 40: 584-585, 2008.
- 25) 福田啓伸, 吉原重美: 学校行事には発作がなければ参加しよう! アレルギー診療 Q & A. Pediatric Allergy for Clinicians 4(3): 60-61, 2008.

## 【学位論文】

- 1) Yamazaki Y: Relation of adiposity rebound age to serum small dense low-density lipoprotein in young childhood. Dokkyo Journal of Medical Sciences 35: 7-12, 2008.

## 【その他の学術論文】

- 1) 吉原重美, 海老澤元宏, 西間三馨: 一小児におけるアナフィラキシーへの対応. Pediatric Allergy for Clinicians 4: 5-12, 2008.

## 【学術書】

- 1) 有阪治: 発育期の区分. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.2-3, 2008.
- 2) 有阪治: 成長に影響する因子. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.4-5, 2008.
- 3) 有阪治: 成長の評価. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.6-7, 2008.
- 4) 有阪治: 輸液, 電解質・酸塩基平衡, 輸液. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.54-57, 2008.
- 5) 有阪治: 脱水症. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.84-85, 2008.
- 6) 有阪治: 下垂体後葉疾患. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.292-294, 2008.
- 7) 有阪治: 腸重積症. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録小児科学. メジカルビュー社. pp.770-771, 2008.
- 8) 有阪治: 下垂体機能亢進症. 大関武彦, 近藤直実編集, 小児科学 第3版. 医学書院. pp.1495-1497, 2008.
- 9) 有阪治: 思春期の発来とその異常. 大関武彦, 近藤直実編集, 小児科学 第3版. 医学書院. pp.1497-1502, 2008.
- 10) 有阪治: 思春期早発症. 山口徹, 北原光男, 福井次矢編集, 今日の治療指針2009. 医学書院. pp.1037-1038, 2008.
- 11) 有阪治: 子どもの肥満と年齢区分. 岡田知雄編集, よくわかる子どもの肥満. 永井書店. pp.21-25, 2008.
- 12) 有阪治: 子どもの肥満の予防治療, 予後. 岡田知雄編集, よくわかる子どもの肥満. 永井書店. pp.26-34, 2008.
- 13) 有阪治: 高脂血症と肥満. 岡田知雄編集, よくわかる子どもの肥満. 永井書店. pp.114-119, 2008.
- 14) 有阪治: Adiposity rebound, food intake, and early growth. 岡田知雄編集, よくわかる子どもの肥満. 永井書店. pp.160-163, 2008.
- 15) 有阪治: 血清脂質異常とその評価. 大関武彦, 藤枝憲二編集, 小児のメタボリックシンドローム. 診断と治療社. pp.41-48, 2008.
- 16) 平尾準一, 有阪治: リスクマネージメント. 飯沼一字, 有阪治, 竹村司, 渡辺博, 小児科学・新生児学テキスト, 第5版. 診断と治療社. pp.145-148, 2007.
- 17) 平尾準一: II. 小児の主な症候を学ぼう 腹痛. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.115-117, 2008.
- 18) 平尾準一: III-L. 消化器疾患/口腔・咽頭疾患 口内炎. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.527-529, 2008.
- 19) 吉原重美, 小野三佳: 肺の形成異常(肺無形成, 肺低形成). 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.425-426, 2008.
- 20) 吉原重美, 阿部利夫: 胸膜縦隔疾患(気胸, 縦隔気腫). 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.427-429, 2008.
- 21) 鈴村宏: 黄疸. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.89-92, 2008.
- 22) 鈴村宏: 吐血・下血. 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直美, 竹村司編集, 講義録 小児科学. メジカルビュー社. pp.128-130, 2008.

- 23) 鈴村宏：低血糖・インスリン過剰症．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.248-251, 2008.
- 24) 鈴村宏：微量元素欠乏症．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.264-266, 2008.
- 25) 志村直人，福島啓太郎．高久史磨監修，ステッドマン医学大辞典．メジカルビュー社．pp.35, 39, 120, 210, 346, 434, 438, 483, 534, 545, 568, 576, 800, 842, 893, 921, 1015, 1165, 1257, 1340, 1353, 1429, 1478, 1515, 1570, 1582, 1681, 1683, 1684, 1740, 1801, 1804, 1809, 1810, 1818, 1819-1820, 1825, 1904, 1992, 2021, 2044, 2008.
- 26) 志村直人：肥満とやせ．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.86-88, 2008.
- 27) 志村直人：食欲不振．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.123-125, 2008.
- 28) 志村直人：ホルモンの種類、作用、作用機序．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.272-279, 2008.
- 29) 志村直人：思春期早発症、思春期遅発症．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メジカルビュー社．pp.288-291, 2008.
- 30) 阿部利夫，吉原重美：中葉症候群（舌区症候群）．新領域別症候群シリーズ，呼吸器症候群（第2版）．日本臨床社．pp.319-321, 2008.
- 31) 市川 剛：視床下部と下垂体機能の機能と構造．佐地勉，有阪治，大澤真木子，近藤直美，竹村司編集，講義録 小児科学．メディカルビュー．pp.280-281, 2008.

## 【研究報告等】

- 1) 有阪治，市川剛，小嶋恵美，志村直人：幼児期BMI reboundと12歳時の動脈硬化危険因子，small dense LDLとの関係．厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業，小児期メタボリック症候群の概念・病態・診断基準の確立及び効果的介入に関するコホート研究 平成19年度研究報告書．pp.5-8, 2008.
- 2) 有阪治，市川剛，小嶋恵美，志村直人：幼児期BMI reboundと12歳時の動脈硬化危険因子，small dense LDLとの関係．厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業，小児期メタボリック症候群の概念・病態・診断基準の確立及び効果的介入に関するコホート研究，平成17～19年度総合研究報告書．pp.5-8, 2008.
- 3) 有阪治，島田由紀子：胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討．平成19年度文科省科学研究費補助金萌芽研究報告書（課題番号19590270）．2008.
- 4) 吉原重美：気管支喘息に対するカンナビノイド作動薬の治療応用に関する基礎研究．平成18年度～19年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書．pp.1-10, 2008.
- 5) 海老沢元宏，吉原重美他16名：アレルギーマーチの進展因子と予防に関する研究．平成19年度厚生労働省科学研究（免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業）研究報告書．pp.5-11, 2008.
- 6) 今高城治：新しく確立した乳幼児急性脳症における中枢性ベンゾジアゼピン受容体の脳内分布．平成20年度文部科学省科学研究費 若手研究（B）．2008.

## 【学会・研究会発表】

- 1) Yoshihara S: Clinical usage of Tulobuterol Patch in pediatric asthma. Pediatric Asthma Forum. The Korean academy of pediatric allergy and respiratory disease, Seoul, 2008-3-4.
- 2) Tono C, Tanizawa A, Hamamoto K, Kurosawa H, Watanabe A, Hotta N, Ito M, Muramatsu

- H, Nara T, Hongo T, Takimoto T, Horibe K, Shimada H on behalf of the JPLSG CML committee: Allogeneic haematopoietic stem cell transplantation in children with chronic myelogenous leukemia – a retrospective analysis of the Japanese Paediatric Leukemia / Lymphoma Study Group (JPLSG). EBMT 2008, Firenze, 2008-3-30.
- 3) Koyama S: RET Proto-oncogene mutation and its effects on thyroid development and carcinogenesis. The second ESPE advanced seminar in developmental endocrinology; thyroid development and its disorders, Paris, 2008-4-24-25.
  - 4) Imataka G, Katashio H, Wake K, Yamanouchi H, Arisaka O: Problems and future prospects regarding the mild brain hypothermia therapy protocol for infant. The 4 th Congress of Asian Society for Pediatric Research, Honolulu, 2008-5-3-6.
  - 5) Ichikawa G, Yamazaki Y, Tsukada K, Kojima M, Shimura N, Arisaka O: Relation of Adiposity Rebound to Small Dense Low-Density Lipoprotein Particles as a Marker of Metabolic Syndrome in Young Childhood: A Cohort Study. 4th Congress of the Asian Society for Pediatric Research (ASPR), Honolulu, 2008-5-3-6.
  - 6) Koyama S, Beltran P, Calzone F, Pinchas C: Variable anti-tumor effects of an IGF-IR blocking antibody in human prostate cancer cells. The endocrine society's annual meeting 2008, San Francisco, 2008-6-15~18.
  - 7) Yoshihara S: Pediatric asthma and Long-acting  $\beta_2$  agonists. The 18th Congress of INTERASMA Japan/North Asia, Educational Seminar, Osaka, 2008-7-12.
  - 8) Imataka G, Nitta A, Yamanouchi H, Watanabe H, Suzumura H, Arisaka O: The life prognosis of trisomy 13 receiving intensive treatment. The 8 th Congress of East Asian Union of Human Genetics, Sapporo, 2008-7-19.
  - 9) Shimada Y, Arisaka O: Gender difference in children's clay works expression. The 32nd SEA World Congress, Osaka, 2008-8-9.
  - 10) Yoshihara S: The position of full agonist  $\beta_2$  on treating children asthmatic diseases. The 11th Chinese national conference of pediatric pulmonology, Xian, 2008-9-25.
  - 11) Koyama S, Cobb JL, Mehta HH, Seeram PN, Heber D, Cohen P: Pomegranate extract induces apoptosis in human prostate cancer cells by modulation of the IGF-IGFBP axis. The fourth international congress of the GRS and IGF society meeting 2008, Genoa, 2008-9-16~19.
  - 12) Koyama S, Cobb JL, Mehta HH, Seeram PN, Heber D, Cohen P: Pomegranate extract induces apoptosis in human prostate cancer cells by modulation of the IGF-IGFBP axis. The fifth asia pacific pediatric endocrine society (APPEES) meeting, Seoul, 2008-10,11-30~2.
  - 13) 有阪治, 市川剛, 小嶋恵美, 志村直人: 幼児期BMI reboundと12歳時の動脈硬化危険因子, small dense LDLとの関係. 厚生労働科学研究 小児期メタボリック症候群の概念・病態・診断基準の確立及び効果的介入に関するコホート研究班班会議, 品川, 2008-1-11.
  - 14) 吉原重美: 小児気管支喘息の診療における留意点 (特別講演). 第7回御茶ノ水アレルギー研究会, 東京, 2008-1-12.
  - 15) 吉原重美: 小児喘息治療—早期介入がなぜ重要なのか?— (特別講演). 高知県小児科医会学術講演会, 高知, 2008-2-1.
  - 16) 今高城治, 桑島成子, 山内秀雄, 橋本禎介, 有阪治: 3DSRTにより経時的評価を試みたサイトメガロウイルス関連急性散在性脳脊髄炎の乳児例. 第68回日本核医学会関東甲信越地方会, 東京, 2008-2-2.
  - 17) 福田啓伸, 吉原重美, 山田裕美, 阿部利夫, 有阪治: 当院でのエピペン®処方使用3症例からみた現状と問題点. 第8回食物アレルギー研究会, 東京, 2008-2-2.
  - 18) 吉原重美: 乳幼児喘息におけるパルミコート的位置付け. 第17回湯田上カンファレンス喘息アレ

ルギー研究会, 新潟, 2008-2-2.

- 19) 黒澤秀光, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 杉田憲一, 有阪治: 肝臓に多発性結節病変を認めた同種骨髄移植後の神経芽腫2例. 第31回日本造血幹細胞移植学会, 札幌, 2008-2-5.
- 20) 萩澤進, 福田啓伸, 杉山史弘, 奥谷真由子, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 松田和之, 矢部みはる, 小池健一, 有阪治: BU+FLU+L-PAMの前処置による非血縁者骨髄移植で拒絶されTBI+Cyの臍帯血移植で生着したJMMLの男児例. 第31回日本造血幹細胞移植学会, 札幌, 2008-2-5.
- 21) 奥谷真由子, 仲島大輔, 萩澤進, 大和田葉子, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 同種骨髄移植後に膜性腎症を発症した若年性骨髄単球性白血病の1例. 第31回日本造血幹細胞移植学会, 札幌, 2008-2-5.
- 22) 有阪治: 小児のメタボリックシンドローム. 小山市医師会研究会, 小山, 2008-2-27.
- 23) 有阪治: 子どもの時からのメタボリックシンドロームの予防. 足利市教育委員会, 足利, 2008-2-29.
- 24) 有阪治: BMI reboundとメタボリックシンドローム. 第5回日本小児栄養研究会, 奈良, 2008-3-1.
- 25) 吉原重美: 日常診療における小児喘息治療の考え方(特別講演). 長岡市医師会学術講演会, 長岡, 2008-3-15.
- 26) 吉原重美: 食物アレルギーの最近の話題(特別講演). 東松山市医師会学術講演会, 東松山, 2008-3-18.
- 27) 吉原重美: 小児気管支喘息における診断と治療—乳幼児期から学童期まで—(特別講演). 第1回西三河喘息COPD研究会, 岡崎, 2008-3-22.
- 28) 吉原重美: 小児気管支喘息～乳幼児喘息の診断と治療・小児喘息の予後～(特別講演). 第5回秦野市・伊勢原市小児アレルギー勉強会, 厚木, 2008-3-29.
- 29) 平尾準一, 西倉潔, 今高城治, 有阪治, 東海林吉利子, 橋本富美子, 岩本良子, 東野怜奈: 当院でかかわっている虐待症例の実態(平成19年度統計より). 第113回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生, 2008-3-30.
- 30) 市川剛, 志村直人, 有阪治: 当科におけるインスリンポンプ療法(CSII)の現状. 第113回栃木県小児科地方会, 壬生, 2008-3-30.
- 31) 栗林良多, 市川剛, 宮本健志, 渡部功之, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴村宏, 有阪治: 当院NICUにおけるNO吸入療法実施例の検討. 第113回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生, 2008-3-30.
- 32) 山崎弦, 西田光宏: 食物の関連性が乏しい運動誘発アナフィラキシーの1例. 第113回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生, 2008-3-30.
- 33) 稲瀬誠実, 大和田葉子, 藤澤正英, 仲島大輔, 山内秀雄, 有阪治, 荒木 修, 和気晃司, 崎尾秀彰: インフルエンザ脳症、細菌性肺炎に縦隔気腫を合併した頻回再発型ネフローゼ症候群の7歳男児例. 第113回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生, 2008-3-30.
- 34) 吉原重美: 小児気管支喘息の薬物治療～ガイドライン2008改訂にむけて～(特別講演). 福井県小児科医会学術講演会, 福井, 2008-4-5.
- 35) 山崎弦, 市川剛, 小嶋恵美, 志村直人, 有阪治: 幼児期BMI reboundとsmall dense LDL出現との関係について. 第81回日本内分泌学会学術集会, 青森, 2008-4-16.
- 36) 北川善之, 市川剛, 吉田敦, 有阪治: 関節炎を伴ったサルモネラ感染症の1例. 第82回日本感染症学会, 松江, 2008-4-17.
- 37) 吉原重美: 乳幼児難治性喘息. テーマ「難治性アレルギー疾患」. アレルギー疾患フォーラム2008, 東京, 2008-4-19.
- 38) 吉原重美: 乳幼児の喘息長期管理薬の適応と使い方. シンポジウム2「乳幼児期の喘鳴に対する診断とその対応」. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-25.

- 39) 吉原重美, 市橋光, 桃井真里子, 江口光興, 井原正博, 菅野訓子, 平尾準一, 有阪治: 栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査—2002年と2006年の比較—. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 40) 佐藤雄也, 市川剛, 藤澤正英, 平尾準一, 杉田憲一, 有阪治: 健常年長児に発症した *Listeria monocytogenes* 脳髄膜炎. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-25.
- 41) 山崎弦, 市川剛, 尾股普子, 小嶋恵美, 志村直人, 有阪治: 幼児期BMIリバウンドと small dense LDL出現との関係について. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 42) 鈴村宏, 新田晃久, 坪井弥生, 渡部功之, 有阪治: パリビズマブ導入後、RSウイルス感染症で入院した早産児について: 今後の課題. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 43) 栗林良多, 宮本健志, 山崎弦, 渡部功之, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴村宏, 有阪治: 在胎25週未満児の皮膚管理におけるテガダームの効果. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 44) 福田啓伸, 吉原重美, 山田裕美, 阿部利夫, 西田光宏, 平尾準一, 有阪治: ブデソニド吸入用懸濁液による乳幼児の気管支喘息入院・予定外受診に対する改善効果. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 45) 市川剛, 志村直人, 福田啓伸, 平尾準一, 有阪治: 小児高度肥満の検討. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 46) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: 栃木県内保育園における食物アレルギー児に対する対応の実態調査. 第111回日本小児科学会学術集会, 東京, 2008-4-26.
- 47) 吉原重美: 小児喘息治療の新たな選択肢(特別講演). 滋賀県ロイコトリエンフォーラム, 大津, 2008-5-10.
- 48) 黒澤秀光, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 杉田憲一, 有阪治, 朴明子, 林泰秀: 脳血栓症で発見された JAK2 V617F 変異を伴った本態性血小板血症. 第5回北関東小児がんセミナー, 高崎, 2008-5-10.
- 49) 吉原重美: 乳幼児喘息治療の最前線(特別講演). 茨城県南地区医師会学術講演会, つくば, 2008-5-14.
- 50) 今高城治 山内秀雄 有阪治: 軽症胃腸炎関連けいれんに対するフェノバルビタール坐薬初回大量療法の有用性. 第50回日本小児神経学会総会, 東京, 2008-5-29.
- 51) 山内秀雄 仲島大輔 栗林良多 渡部功之 今高城治 有阪治: 小児急性脳症における髄液バイオマーカーに関する研究. 第50回日本小児神経学会総会, 東京, 2008-5-29.
- 52) 渡部功之, 宮本健志, 栗林良多, 山崎弦, 益崎妙子, 谷口尚司, 山内秀雄, 鈴村宏, 有阪治: 当院における新生児デジタルビデオ脳波の症例. 日本胎児新生児神経研究会, 大阪, 2008-5.
- 53) 山田裕美, 吉原重美, 福田啓伸, 有阪治: 栃木県内小・中学校における食物アレルギーの実態調査. 第20回日本アレルギー学会春季臨床大会, 東京, 2008-6-12.
- 54) 福田啓伸, 吉原重美, 山田裕美, 西田光宏, 阿部利夫, 有阪治: 当院でのエピペン®処方の現状-使用3症例からみた問題点. 第20回日本アレルギー学会春季臨床大会, 東京, 2008-6-13.
- 55) 吉原重美: 小児喘息における早期治療介入. シンポジウム: 喘息における早期治療介入の意義. 第48回呼吸器学会学術集会, 神戸, 2008-6-17.
- 56) 吉原重美: ウイルス感染と小児気管支喘息(特別講演). 第21回日本アレルギー協会東北支部秋田県部会学術講演会, 2008-6-25.
- 57) 鈴村宏: RSウイルス感染予防の、産科との連携. RSV global expert meeting 2008, 東京, 2008-6.
- 58) 鈴村宏: 無呼吸で発見される新生児くも膜下出血. 第45回栃木県周産期医療研修会, 壬生, 2008-6-20.
- 59) 吉原重美: 小児喘息とその関連する遷延性咳嗽の治療(特別講演). 第12回横須賀・三浦小児科医学会学術講演会, 横須賀, 2008-7-1.

- 60) 吉原重美: 栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査-2002年と2006年の比較-. 栃木県小児アレルギーフォーラム, 宇都宮, 2008-7-3.
- 61) 吉原重美: 乳幼児気管支喘息の発症メカニズムと Early intervention(特別講演). 第5回越谷小児臨床懇話会, 越谷, 2008-7-4.
- 62) 吉原重美: 食物アレルギー. 平成20年度栃木県小児保健会総会, 壬生, 2008-7-5.
- 63) 吉原重美: 小児気管支喘息の治療戦略~ガイドライン2008改訂にむけて~(特別講演). 第4回北海道小児最新医療フォーラム, 札幌, 2008-7-26.
- 64) 吉原重美: 食物アレルギーの診断と治療(特別講演). 平成20年度日本アレルギー協会中国支部広島県部会学術講演会, 広島, 2008-7-31.
- 65) 藤澤正英, 刈屋桂, 今高城治, 志村直人, 山内秀雄, 平尾準一, 有阪治: 呼吸管理のための鎮静剤長期投与により withdrawal syndrome をきたした2例. 第114回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2008-7-12.
- 66) 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 周期性発熱を呈した3例. 第114回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2008-7-12.
- 67) 山崎弦, 西田光宏, 有阪治, 井原正博: 上室性頻拍を発症した Beckwith-Wiedemann 症候群の一例. 第114回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2008-7-12.
- 68) 杉山史弘, 萩澤進, 奥谷真由子, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 歩行障害で発症した神経芽腫の2例. 第114回日本小児科学会栃木地方会, 宇都宮, 2008-7-12.
- 69) 鈴村宏, 新田晃久, 渡部功之, 栗林良多, 有阪治, 渡辺博: 極低出生体重児における聴覚スクリーニング. 第44回日本周産期・新生児学会, 横浜, 2008-7-14.
- 70) 新田晃久, 渡部功之, 鈴村宏, 有阪治: 酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ 5b(TRACP-5b)測定 of 早産児骨代謝に対する検討. 第44回日本周産期・新生児医学会学術集会, 横浜, 2008-7-13.
- 71) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 有阪治, 佐々木成, Daniel G Bichet: AVPR2 遺伝子の欠失を認めた腎性尿崩症の一家系. 第12回小児分子内分泌研究会, 小樽, 2008-7.
- 72) 有阪治: 思春期異常. 第5回日本小児栄養研究会, 東京, 2008-8-2.
- 73) 有阪治: 思春期早発症と続発性性腺機能低下症. 小児内分泌専門セミナー, 御殿場, 2008-8-23.
- 74) 吉原重美: 日常診療における乳幼児喘息治療の考え方. 北海道乳幼児喘息治療ミーティング, 札幌, 2008-8-30.
- 75) 有阪治: 小児の肥満と脂質異常-コホート研究から. 第14回千葉糖尿病研究会, 千葉, 2008-9-9.
- 76) 鈴村宏: 早産児RSウイルス感染症予防のためのパリーブズマブ投与. 第32回栃木県小児保健会, 宇都宮, 2008-9-13.
- 77) 有阪治: 小児(乳幼児期・学童期・思春期)の体の特徴と栄養. 子育て支援養成講座, 島根県立大学主催, 出雲, 2008-9-15.
- 78) 有阪治: 子どものところとからだの健康-肥満・高脂血症・糖尿病等の予防. 栃木県栄養士会, 宇都宮, 2008-9-16.
- 79) 吉原重美: 乳幼児喘息における早期診断と早期介入の重要性(特別講演). 川崎市医師会学術講演会, 川崎, 2008-9-17.
- 80) 吉原重美: 小児喘息とウイルス感染. 第7回神奈川アレルギー疾患研究会, 横浜, 2008-9-19.
- 81) 西田光宏, 山崎弦, 福島啓太郎, 吉原重美, 有阪治: 喘息コントロールテストの有用性の検討. 第3回大田原小児科セミナー, 宇都宮, 2008-9-20.
- 82) 久松聖人, 今高城治, 仲島大輔, 山内秀雄, 有阪治: 拡散強調MRI画像で特徴的な所見を認めたスイングテアーによる Shaken Baby Syndrome の乳児例. 第49回小児神経学会関東地方会, 静岡, 2008-9-20.
- 83) 小山さとみ, Cobb JL, Mehta HH, Seeram PN, Heber D, 有阪治, Cohen P: ザクロ抽出物による前立腺癌細胞でのアポトーシスの誘導と IGF-IGFBP axis との関連. 第42回日本小児内分泌学会,

鳥取, 2008-10-2.

- 84) 小山さとみ, Beltran P, Calzone F, 有阪治, Pinchas C: 前立腺癌細胞における IGF-I 受容体阻害抗体の抗腫瘍効果について. 第 42 回日本小児内分泌学会, 鳥取, 2008-10-2.
- 85) 宮本建志, 市川剛, 坪井龍生, 志村直人, 鈴木宏, 有阪治: 子宮内発育不全児における大動脈内臓中膜厚と IGF-1 濃度との関係. 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-2.
- 86) 市川剛, 山崎弦, 小嶋恵美, 志村直人, 有阪治: 幼児期 BMI rebound と学童期の肥満、脂質、代謝異常との関係. 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-2.
- 87) 島田由紀子, 市川剛, 小山さとみ, 志村直人, 堀川玲子, 有阪治: 胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討 (第一報). 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-4.
- 88) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 今高城治, 有阪治: 低血糖から痙攣重積・横紋筋融解を来した 1 型糖尿病男子例. 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-4.
- 89) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 平尾準一, 有阪治: 入院時に糖尿病ケトアシドーシスを疑われたビタミン B1 欠乏症の 1 男児例. 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-4.
- 90) 神原亜紀子, 市川剛, 志村直人, 有阪治: 急性化膿性甲状腺炎の 3 症例. 第 42 回日本小児内分泌学会学術集会, 鳥取, 2008-10-4.
- 91) 福田啓伸, 吉原重美, 片塩仁, 和気晃司, 西田光宏, 今高城治, 平尾準一, 有阪治: シベレスタット(エラスポール®)を投与した ARDS2 症例のサイトカインからみた検討. 第 41 回日本小児呼吸器疾患学会, 函館, 2008-10-4.
- 92) 福田啓伸, 吉原重美, 片塩仁, 和気晃司, 西田光宏, 今高城治, 平尾準一, 有阪治: シベレスタット(エラスポール®)を投与した ARDS2 症例のサイトカインからみた検討. 第 41 回日本小児呼吸器疾患学会, 函館, 2008-10-4.
- 93) 鈴木宏, 新田晃久, 渡部功之, 山内秀雄, 作田亮一, 村上信行: 出生直後から全く体動がなく、剖検で脊髄の脱髄を認めた 1 例. 第 37 回胎児新生児神経研究会, 東京, 2008-10-4.
- 94) 吉原重美: 小児気管支喘息の最新治療戦略 (特別講演). 埼玉県東部小児懇話会, 埼玉, 2008-10-8.
- 95) 有阪治: 小児の思春期異常. 第 8 回思春期医学懇話会, 宇都宮, 2008-10-10.
- 96) 福島啓太郎, 黒澤秀光, 吉田敦, 奥谷真由子, 仲島大輔, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 杉田憲一, 有阪治: メカニカルバルブ式閉鎖輸液回路に変更後のカテーテル感染症の増加. 第 70 回日本血液学会総会, 京都, 2008-10-10.
- 97) 黒澤秀光, 奥谷真由子, 菊地次郎, 古川雄祐, 犬飼岳史, 安藝大輔, 松井啓隆, 稲葉俊哉, 松下卓, 佐藤雄也, 萩澤進, 福島啓太郎, 杉田憲一, 有阪治: 17;19 転座型 ALL における caspase 非依存性細胞死の抑制. 第 70 回日本血液学会総会, 京都, 2008-10-10.
- 98) 遠野千佳子, 谷澤昭彦, 村松秀城, 渡辺輝浩, 伊藤正樹, 浜本和子, 黒澤秀光, 堀田紀子, 永利義久, 加藤剛二, 菊地陽, 鶴澤正仁, 堀部敬三, 嶋田博之: 小児 CML に対する同種造血幹細胞移植 -JPLSG 参加施設症例の後方視的研究. 第 70 回日本血液学会, 京都, 2008-10-10.
- 99) 谷澤昭彦, 遠野千佳子, 渡辺輝浩, 浜本和子, 黒澤秀光, 堀田紀子, 伊藤正樹, 村松秀城, 加藤剛二, 永利義久, 菊地陽, 鶴澤正仁, 堀部敬三, 嶋田博之: 日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) 参加施設における小児慢性骨髄性白血病の後方視的解析. 第 70 回日本血液学会, 京都, 2008-10-10.
- 100) 奥谷真由子, 宮本健志, 仲島大輔, 萩澤進, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 化学療法中の真菌感染症に対して、ポリコナゾール投与に苦慮した急性リンパ性白血病の一例. 第 70 回日本血液学会, 京都, 2008-10-10.
- 101) 伊藤正樹, 遠野千佳子, 村松秀城, 谷澤昭彦, 黒澤秀光, 浜本和子, 堀田紀子, 渡辺輝浩, 永利義久, 安井昌博, 鶴澤正仁, 堀部敬三, 嶋田博之: RIST を施行した小児 CML 14 例の後方視的解析—日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG). 第 70 回日本血液学会, 京都, 2008-10-10.

- 102) 福島啓太郎, 黒澤秀光, 吉田敦, 奥谷真由子, 仲島大輔, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 杉田憲一, 有阪治: メカニカルバルブ式閉鎖式輸血回路に変更後のカテーテル感染症の増加. 第70回日本血液学会, 京都, 2008-10-10.
- 103) 吉原重美: 最新の乳幼児喘息治療～2008ガイドライン改訂を踏まえて～. Asthma Symposium; 栃木(特別講演). 小山地区医師会, 小山, 2008-10-17.
- 104) 今高城治 藤澤正英 山内秀雄 有阪治: 興味深い脳波所見を呈したHHV-6による前頭葉を主として障害する乳幼児急性脳症. 第42回日本てんかん学会総会, 東京, 2008-10-18.
- 105) 山内秀雄 今高城治 仲島大輔 栗林良多 片塩仁 和氣晃司 小野一之 崎尾秀彰 有阪治: 急性脳症の疑い例に低体温療法を施行すべきか. 第42回日本てんかん学会総会, 東京, 2008-10-18.
- 106) 吉原重美: よりよい乳幼児喘息治療の実践に向けて. 武蔵野乳幼児喘息Symposium(特別講演). 武蔵野市医師会学術講演会, 吉祥寺, 2008-10-25.
- 107) 吉原重美: 乳幼児喘息の炎症ゼロレベル作戦を実践するには?(パネルディスカッション). BABY Symposium 2008, 東京, 2008-10-26.
- 108) 吉原重美: 乳幼児喘息の病態を踏まえた治療戦略(特別講演). 横浜市小児科医会学術講演会, 横浜, 2008-10-29.
- 109) 鈴木宏: 超早産児に対するサイロキシン投与と痙性麻痺発生率. 第53回日本未熟児新生児学会, 札幌, 2008-10-30.
- 110) 新田晃久, 渡部功之, 鈴木宏, 有阪治: 先天性横隔膜ヘルニアおよびDandy-Walker奇形を合併した9pテトラソミーの極低出生体重児例. 第53回日本未熟児新生児学会学術集会, 札幌, 2008-10-30.
- 111) 渡部功之, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: NO吸入療法の離脱にPGI2投与が有効であった先天性嚢胞性腺腫様奇形(CCAM)の1例. 第53回日本未熟児新生児学会学術集会, 札幌, 2008-10-30.
- 112) 鈴木宏, 新田晃久, 坪井弥生, 渡部功之, 栗林良多, 有阪治: 早産児の低サイロキシン血症に対する治療の是非を考える 超早産児に対するサイロキシン投与と痙性麻痺発生率. 第53回日本未熟児新生児学会学術集会, 札幌, 2008-10-30.
- 113) 鈴木宏: RSウイルス感染予防における新生児科医と産科医、助産師、保健師との連携. 第79回日本母性衛生学会, 浦安, 2008-11-7.
- 114) 福田啓伸, 吉原重美, 有阪治: アトピー性皮膚炎モデルにおけるツロブテロール経皮吸収剤の皮膚移行性の検討. 第15回日本時間生物学会学術大会, 岡山, 2008-11-8.
- 115) 吉原重美: 日常診療における乳幼児喘息の考え方(特別講演). 京都小児科医会学術講演会, 京都, 2008-11-8.
- 116) 西田光宏, 山崎弦, 吉原重美, 有阪治: コリン性蕁麻疹の3例. 第115回日本小児科学会栃木県地方会, 下野, 2008-11-9.
- 117) 黒澤秀光, 松下卓, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 福島啓太郎, 平尾準一, 杉田憲一, 有阪治: 獨協医大とちぎ子ども医療センターで実施した造血幹細胞移植症例の検討. 第115回日本小児科学会栃木県地方会, 下野, 2008-11-9.
- 118) 渡部功之, 市川剛, 福田啓伸, 栗林良多, 宮本健志, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治: 当院での脳低温療法の実際と問題点. 第115回日本小児科学会栃木県地方会, 下野, 2008-11-9.
- 119) 神原亜紀子, 市川剛, 小山さとみ, 志村直人, 有阪治: 急性化膿性甲状腺炎の3症例. 第115回日本小児科学会栃木県地方会, 下野, 2008-11-9.
- 120) 塚田佳子, 今高城治, 萩澤進, 山内秀雄, 平尾準一, 杉田憲一, 有阪治: 獨協医科大学における在宅人工呼吸器使用の現状. 第116回日本小児科学会栃木県地方会, 下野, 2008-11-9.
- 121) 小山さとみ: 生活習慣病予備軍として小児肥満を考える. 栃木保健師勉強会, 栃木, 2008-11-11.
- 122) 吉原重美: 小児気管支喘息UP-to-date ～ガイドライン2008改訂を踏まえて～(特別講演). 第40回福山小児科医会学術講演会, 福山, 2008-11-14.

- 123) 黒澤秀光, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 福島啓太郎, 杉田憲一, 朴明子, 林泰秀, 有阪治: 脳静脈洞血栓症で発見されたJAK2V617F変異を伴った本態性血小板血症. 第50回日本小児血液学会, 千葉, 2008-11-14.
- 124) 福島啓太郎, 杉田憲一, 西川清香, 植田静, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 松下卓, 黒澤秀光, 有阪治: WEBカメラを利用した双方向通信授業による院内学級の支援. 第50回日本小児血液学会, 千葉, 2008-11-14.
- 125) 佐藤雄也, 奥谷真由子, 萩澤進, 松下卓, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: 大量シタラビン療法後のStreptococcus sanguis敗血症に急性脳症を合併したAMMoL男児. 第50回日本小児血液学会, 千葉, 2008-11-14.
- 126) 松下卓, 仲島大輔, 奥谷真由子, 萩澤進, 佐藤雄也, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 有阪治: オクトレチオドの一時休止によりL-Asparaginaseによる膵炎を発症した小児ALL. 第50回日本小児血液学会, 千葉, 2008-11-14.
- 127) 奥谷真由子, 萩澤進, 福島啓太郎, 黒澤秀光, 杉田憲一, 野々山恵章, 久保田健夫, 佐藤武幸, 有阪治: HLA一致保因者同胞をドナーとして骨髄移植を施行したX連鎖血小板減少症の一例. 第50回日本小児血液学会, 幕張, 2008-11-14.
- 128) 谷澤昭彦, 遠野千佳子, 浜本和子, 渡辺輝浩, 黒澤秀光, 堀田紀子, 伊藤正樹, 村松秀城, 加藤剛二, 井上雅美, 鶴澤正仁, 堀部敬三, 嶋田博之: イマチニブによる初期治療を開始した小児慢性期CMLの後方視的研究: JPLSG参加施設へのアンケート調査. 第50回日本小児血液学会, 幕張, 2008-11-14.
- 129) 徳山美香, 谷澤昭彦, 遠野千佳子, 渡辺輝浩, 浜本和子, 黒澤秀光, 堀田紀子, 伊藤正樹, 村松秀城, 前田美穂, 鶴澤正仁, 堀部敬三, 嶋田博之: CML患者におけるイマチニブ継続内服が身長に与える影響の検討—日本小児白血病リンパ腫研究グループ. 第50回日本小児血液学会, 幕張, 2008-11-14.
- 130) 犬飼岳史, 滝智彦, 小野厚, 西村慎一郎, 渡辺輝浩, 小川淳, 塩崎順子, 康勝好, 黒澤秀光, 稲葉俊哉, 広瀬衣子, 黒田格, 合井久美子, 加賀美恵子, 杉田莞爾: 高カルシウム血症を合併した急性リンパ性白血病における17:19転座のスクリーニング. 第50回日本小児血液学会, 幕張, 2008-11-14.
- 131) 康勝好, 小原明, 磯山恵一, 梶原道子, 小池和俊, 金沢崇, 嶋田博之, 田中竜平, 熊谷昌明, 木下明俊, 杉田莞爾, 杉田憲一, 真部淳, 林泰秀, 前田美穂, 花田良二, 土田昌宏: ALL標準危険群に対するTCCSG治療戦略の変遷: TCCSG・ALL L89-12, 92-13, 95-14, 99-15研究. 第50回日本小児血液学会・第24回小児がん学会, 幕張, 2008-11-16.
- 132) 太田節雄, 外山大輔, 福島啓太郎, 望月慎史, 田村一志, 山本将平, 齋藤正博, 小野敏明, 工藤寿子, 海老原康博, 滝田順子, 加藤宏美, 佐藤武幸, 土田昌宏: 白血病における予防接種: TCCSGにおける現況. 第50回日本小児血液学会, 幕張, 2008-11-16.
- 133) 前田美穂, 土田昌宏, 青木由貴, 有瀧健太郎, 石井栄三郎, 石田也寸志, 加藤陽子, 菊地陽, 後藤晶子, 齋藤正博, 杉田憲一, 徳山美香, 中舘尚也, 別所文雄, 細谷亮太, 福永慶隆, 東京小児がん研究グループ: 小児白血病患児への病名告知に関する検討—この数年の変化—. 第50回日本小児血液学会・第24回小児がん学会, 幕張, 2008-11-16.
- 134) 小原明, 真部淳, 牧本敦, 康勝好, 小川千登世, 磯山恵一, 杉田憲一, 杉田莞爾, 野口靖, 太田節雄, 前田美穂, 矢部普正, 金子隆, 熊谷昌明, 梶原道子, 高橋浩之, 菊地陽, 嶋田博之, 外松学, 福島敬, 齋藤正博, 林泰秀, 花田良二, 土田昌宏: 小児ALLに対する化学療法早期の有効性と安全性の検討: TCCSG ALL L04研究 東京小児がん研究グループ. 第70回日本血液学会, 京都, 2008-11-10.
- 135) 吉原重美: 乳幼児喘息の診断と治療のポイント(特別講演). 沖縄県小児科医会学術講演会, 那覇, 2008-11-21.
- 136) 吉原重美: 乳幼児喘息の早期介入. 教育セミナー 13. 第58回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京, 2008-11-29.

- 137) 福田啓伸, 吉原重美, 阿部利夫, 有阪治: 抗原誘発気道血漿漏出反応に対するカンナビノイド合成アゴニストの抑制機序の検討. 第58回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京, 2008-11-29.
- 138) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: 痰中 Creola Body は RSV 細気管支炎においても存在する. 第58回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京, 2008-11-29.
- 139) 志村直人, 市川剛, 神原亜紀子, 平尾準一, 有阪治: 現代でも脚気は起こる一糖尿病を疑われたビタミンB1欠乏症の男児例-. 第21回栃木こどもの成長を考えるフォーラム, 宇都宮, 2008-11.
- 140) 今高城治, 塚田佳子, 久松聖人, 山内秀雄, 有阪治: 若年性脳梗塞女児例における神経放射線画像解析. 第6回塩原セミナー, 塩原, 2008-11.
- 141) 渡部功之, 久松聖人, 塚田佳子, 栗林良多, 坪井弥生, 今高城治, 新田晃久, 山内秀雄, 鈴木宏, 有阪治: 無呼吸を伴う新生児痙攣の1例. 第6回塩原セミナー, 塩原, 2008-11.
- 142) 小山さとみ: ザクロ抽出物による前立腺癌細胞でのアポトーシスの誘導と IGF-IGFBP axis との関係. ノボノルディスク社社内研修, 宇都宮, 2008-12-1.
- 143) 吉原重美: ウイルス感染の小児喘息に及ぼす影響について(特別講演). 第1回大阪臨床小児科セミナー, 大阪, 2008-12-4.
- 144) 宮本健志, 市川剛, 坪井龍生, 志村直人, 鈴木宏, 有阪治: 子宮内発育不全児における大動脈内膜中膜複合体厚と IGF-I 濃度および LDL 粒子径との関係. 第22回日本小児脂質研究会, 東京, 2008-12-6.
- 145) 吉原重美: B2 刺激薬(吸入, 内服, 貼付)による違い. シンポジウム5; 小児喘息治療における経口 B2 刺激薬の位置づけ. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-13.
- 146) 吉原重美, 佐藤優子, 有阪治: サルメテロール/フルチカゾン配合剤で著明に改善した小児気管支喘息の1例. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-13.
- 147) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: RSV 細気管支炎における痰中 Creola Body の臨床的意義の検討. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-13.
- 148) 菅野訓子, 吉原重美, 福田啓伸, 阿部利夫, 有阪治, 山田裕美, 土屋喬義, 西田光宏, 浅井秀実, 飯村昭子, 安藤保, 小野三佳, 福田典正: 夜間睡眠障害を喘息コントロールの指標としたブデソニド吸入懸濁剤の有用性. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-13.
- 149) 山田裕美, 吉原重美: 獨協医科大学の場合, シンポジウム9; 乳幼児における喘息管理は改善したか?. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-14.
- 150) 西田光宏, 山崎弦, 吉原重美, 有阪治: 運動誘発試験で肺機能低下を認めたコリン性蕁麻疹の1例. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-14.
- 151) 福田啓伸, 吉原重美, 有阪治: バリア傷害皮膚におけるツロブテロール経皮吸収製剤の皮膚移行性について. 第45回日本小児アレルギー学会, 横浜, 2008-12-14.

## 【公開講座】

- 1) 有阪治: 小児の体の特徴と栄養. 子育て支援. 島根県立短期大学子育て支援養成講座, 出雲, 2008-9-15.
- 2) 吉原重美: 小児疾患とスポーツ医学. 平成19年度ポカリスエット・ジュニアスポーツセミナー スポーツ医科学研修会, 宇都宮, 2008-2-3.
- 3) 吉原重美: 小児のアレルギー性鼻炎治療について. アレグラ適応追加1周年記念講演会, 宇都宮, 2008-2-14.
- 4) 吉原重美: 小児アレルギー疾患の症状と治療. 栃木健康福祉センター・小児アレルギー教室, 栃木, 2008-3-1.
- 5) 吉原重美: 小児気管支ぜん息の基礎知識について. 平成20年度公害健康被害予防事業研修: 初任者研修(小児), 東京, 2008-6-3.

- 6) 吉原重美：小児の食物アレルギーについて．とちぎコープ生活協同組合学習会，宇都宮，2008-6-5.
- 7) 吉原重美：場面寡黙症について．獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター小児疾患専門相談会，草加，2008-7-10.
- 8) 吉原重美：学校における食物アレルギー対応の留意点について．平成20年度給食主任・栄養教諭等研修会，栃木，2008-7-24.
- 9) 吉原重美：乳幼児の病気についての基礎知識．平成20年度鹿沼地区幼稚園地区研究会，鹿沼，2008-9-16.
- 10) 吉原重美：総括；喘息治療におけるロイコトリエン拮抗薬の優先度を考える．栃木県小児科医会，佐野，2008-10-23.
- 11) 吉原重美：小児の病気に関する相談会．獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター，草加，2008-11-15.
- 12) 吉原重美：日常診療における小児喘息の考え方．第24回ピノキオ薬局薬剤師サンデー勉強会，特別講演，下野，2008-11-16.
- 13) 吉原重美：食物アレルギーの現状と対策．「この指とまれプロジェクト」うつのみや産学官連携推進ネットワーク，宇都宮，2008-11-26.
- 14) 吉原重美：小児アレルギー疾患のより良い治療のために．栃木健康福祉センター・小児アレルギー教室，栃木，2008-12-2.
- 15) 吉原重美：小児気管支喘息の治療戦略～吸入ステロイド薬を中心に～．Medical Tribune アレルギーセミナー，テーマ；日常診療におけるアレルギー疾患治療のコツ，札幌，2008-12-6.
- 16) 志村直人、小嶋恵美、有阪 治：小児生活習慣病予防教室1. 小児生活習慣病予防教室1，藤岡，2008-2.
- 17) 志村直人、小嶋恵美、有阪 治：小児生活習慣病予防教室2. 小児生活習慣病予防教室2，藤岡，2008-2.
- 18) 志村直人：成長曲線から診たこどもの健康．ノボノルディスク社社内研修，宇都宮，2008-3.
- 19) 志村直人：子どもの身長・体重の変化は語る一病気の早期発見のために一．第5回子ども健康講座，宇都宮，2008-6.
- 20) 志村直人，有阪 治：HbA1cと糖尿病スクリーニングについて．大田原市保健課小児糖尿病予防検討会，大田原，2008-10.
- 21) 志村直人：小児糖尿病について 一学校生活での注意点一．小児慢性特定疾患長期療養児支援事業学校保健研修会，2008-11.
- 22) 新田晃久：新生児けいれんの診断と治療．第45回栃木県周産期医療研修会，壬生，2008-6.
- 23) 新田晃久：乳幼児の特徴と成長発達について．栃木県県南健康福祉センター講話会，小山，2008-8.

## 【新聞記事・書評等】

- 1) 吉原重美：ウイルス感染と乳幼児喘息．岡山県小児科医会会報，第29号：11-21，2008.
- 2) 吉原重美：乳幼児喘息治療を考える！．北足立郡医師会会報，236号：27-28，2008.
- 3) 吉原重美：小児喘息とその関連する遷延性咳嗽の治療．横須賀市医師会報，283号：22-24，2008.
- 4) 吉原重美，井上壽茂：「乳幼児における喘息管理は改善したか？」．シンポジウム9座長の言葉．日本小児アレルギー学会誌，vol22(4)：615，2008.
- 5) 吉原重美：小児の病態を踏まえた喘息治療のコツ-乳児喘息を中心に-足立，森川，大久保編集．内科・小児科・耳鼻咽喉科からみたOne Airway One Disease，53-58，2008.
- 6) 吉原重美：RSウイルス気道感染と反復性喘鳴．第55回日本ウイルス学会学術集会記録集，1-7，2008.
- 7) 吉原重美，山田裕美：県内小中学校・食物アレルギー．下野新聞，下野新聞社，第43779号，2008-

7-22.

- 8) 吉原重美: 食物アレルギー県内の実情;現場迫られる意識改革. 下野新聞, 下野新聞社, 第43779号, 2008-7-22.

### 【テレビ・ラジオ等】

- 1) 吉原重美: 隠れ中等症に対する最適な治療戦略. アストラゼネカTVシンポジウム, アストラゼネカ製薬, 東京, 2008-2-7.
- 2) 吉原重美: 隠れ中等症に対する最適な治療戦略. アストラゼネカTVシンポジウム, アストラゼネカ製薬, 宇都宮, 2008-2-13.